

第1学年 特別活動学習指導案

授業者 高橋 健

- 1 日時 平成25年7月5日(金) 第1校時
- 2 学級 1年4組 男子15名 女子15名 合計30名 南校舎4階 1年4組教室
- 3 主題 学級の諸問題を考える「学級スローガン達成度の向上を目指して」

4 主題について

特別活動における学級活動の目標は、「望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる」ことである。1学期も間もなく締めくくりの時期を迎えるが、先日「1学期の学級総括」を行った。「日常生活や行事の取り組みを通して仲良くなってきた」「教室の中が整理されていてきれい」「応援活動で大きな声を出せるようになった」などの成果を挙げた一方、「時間への意識」「何かに取り組む時、本気になるまでに時間がかかる」という課題も残された。また、学級スローガン「星飛～スタート～」の達成率は60%と自己評価している。この達成率を1学期残りの期間、そして2学期と上昇していくよう手立てを組む必要があると考えた。そこで、本題材は、学級活動の内容「(1)学級や学校の生活づくり」の内容について、「ア学級や学校における生活上の諸問題の解決」および「ウ学校における多様な集団の生活向上」について取り上げ、係活動を視点にして学級生活の改善、向上を図ることをねらいとしている。

本学級の生徒は係活動や教科リーダー、日直の仕事などに概ねまじめに取り組んでいる。どの係も4月に確認された活動が軌道に乗っている状態である。なかには自分の仕事にプライドをもって活動している生徒もいる。1学期前半が終わる頃にそれまでの学級生活を振り返る機会を設け、学級の当時の現状から「あいさつ」「切りかえ」「反応」「皆で仲良く」の4つの重点に取り組んでいくことが確認された。しかし、このように自分達で決めたことを責任をもってやり遂げる力が足りず、1学期総括において「時間への意識や切りかえ」が依然として課題に挙がっている状況である。

この現状から、課題の克服やスローガン達成度の向上に向けての具体的な手立てを係活動という視点で考えさせ、自分たちで決めた取り組み内容に責任をもってやり遂げさせることで成就感をもたせたいと考えた。予め定められた以外の活動も学級の実態に応じて係で推進できることを伝え、係活動のさらなる活性化と合わせて学級生活の向上を目指したい。1学年が終わる頃には、自治活動の範囲をより広げていきたいと考えている。また、今回は教師主導で進める学期総括を2学期では議長を立てた学級会形式で行いたいと考えている。

5 指導計画

| 計画 | 時間数 | 学習内容 |
|---------------|---------|---------------------------------|
| 「1学期の学級を振り返る」 | 1 | 1学期の成果と課題をもとに、学級スローガンの達成度を確認する。 |
| 「自分の個性を確認しよう」 | 1 本時 | 課題克服に向けて、係活動という視点で取り組みを考える。 |

6 本時の達成目標

| | |
|----------|--|
| 関心・意欲・態度 | 係活動の特性を生かした、課題解決に向けての取り組みを考えようとしている。 |
| 思考・判断・実践 | 班員と協力しながら、係活動の特性を生かした取り組みを考えてまとめたり、書いていたりしている。 【生徒の発言例】 ・1学期残り14日間を係活動を充実させることによって締めくくりたいと思った。自分たち広報係では、呼びかけのポスターを掲示して皆の意識を高めていきたい。各係のがんばり、そして学級の皆で協力して「星飛～スタート～」の達成度を少しでも高めて1学期を終えて2学期につなげたい。 |
| 知識・理解 | |

7 本時の指導構想

(1)「教えて考えさせる授業」にかかわって

本時は、主に「思考・判断・実践」の「班員と協力しながら、係活動の特性を生かした取り組みを考えてまとめたり、発表したりしている。」を主にねらったものである。

- ①【説明する】…授業を通して、学級の課題を克服し、学級スローガンの達成度を高められるような係活動の取り組みを考えることが本時の授業のゴールであることを示す。
- ②【理解の確認】…本時の授業の進め方について確認することである。
 - ・課題克服，スローガン達成率向上を目指して各係で何ができるか話し合い発表する
 - ・それぞれの係の提案に対して質問や意見を出して，その取り組みについて学級みんなで共有する。
 - ・本時のまとめをする。
- ③【理解深化】…課題を克服し，学級スローガンの達成度を高められるような係活動を班員と協力して考える。また，その取り組み内容を考えただけでは不十分であることを指摘した上で，「いつ・どのような方法で」取り組むのかまで決める。
- ④【自己評価活動】…課題を克服し，学級スローガンの達成度を高められるようにしたいと考えた取り組みを成功させていきたいという決意をもたせたい。

(2)「表現すること」にかかわって

本時で大切にしたい「表現する」活動は以下の3点である。

- 1点目は，班内で課題克服に向けての取り組みについて考えて発表することである。
- 2点目は，その各係からの取り組み内容について質問や意見を交わす場面である。
- 3点目は，「自己評価活動」で本時について学んだことを振り返って記述することである。

(3)本時の展開

| 段階 | 学 習 活 動 | 教師の指導・支援 | 評価の観点・方法 | 教材・教具等 |
|--------------|--|--|----------|--------------------------------------|
| 説明する 5分 | 1. 学級の1学期総括を振り返る。 2. 学習課題を確認する。 | 1. 1学期総括における成果と課題，学級スローガンの達成度を再確認する。 2. スローガン達成度を向上させて1学期を終えることをみんなで確認する。 | | |
| | 学級スローガン達成度の向上を目指して | | | |
| 理解の確認 3分 | 3. 本時の授業の進め方を確認する。 | 3. 本時の大まかな進め方について説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・課題克服，スローガン達成率向上を目指して各係で何ができるか話し合い発表する。 ・それぞれの係の提案に対して質問や意見を出してその取り組みについて学級皆で共有する。 ・本時のまとめをする。 </div> | | |
| 理解深化 34分 | 4. 班会議を行い，課題克服やスローガン達成率向上に向けて各係でできる取り組みについて考えて発表する。 5. 各係から出された取り組みについて質問や意見があれば出す。 6. 期日まで含めた取り組みとなるよう再考し，発表する。 7. 本時のまとめを確認する。(2分) | 4. ①班内の役割分担を確認させて，班会議を進めさせる。 ・司会…班長 ・書記 ・発表者 ②話し合いの2つの視点を示す ・係内で努力すること ・学級全員で努力すること 5. 生徒同士の質問や意見により取り組み内容についての理解を深めさせる。 6. 取り組み内容を決めただけでは不十分であることに気づかせ，実際の取り組み期日などを決めさせる。 7. 本時で学習したことを再確認する。 | | ・板書カード ・わたしのノート ・板書カード |
| 自己評価活動 8分 | 8. 本時の学習について振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【生徒の記入例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期残り14日間を係活動を充実させることによって締めくくりたいと思った。自分たち広報係では，呼びかけのポスターを掲示して皆の意識を高めていきたい。各係のがんばり，そして学級のみんなで協力して「星飛～スタート～」の達成度を少しでも高めて1学期を終えて2学期につなげたい。 </div> | 8. 本時の学習課題に対する振り返りをおこなう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・実践】</p> <p>班員と協力しながら，係活動の特性を生かした取り組みを考えてまとめたり，書いたりしている。</p> </div> | | ・わたしのノート |

